

登録有形文化財の登録について

登録有形文化財（建造物）に長野市関係の建造物 2 箇所 2 件が国文化審議会より答申された。

1 登録答申された物件

【令和 3 年 7 月 1 6 日答申】



所在地：長野市信州新町水内字橋場～信更町吉原字川原

建築年代：昭和 8 年（1 9 3 3）

構造等：県歌「信濃の国」4 番にも登場する、犀川中流の狭窄部きょうさくに架かる道路橋。建設時の事業主体は長野県、設計は棚谷與市（県土木課技手）、現在も長野県が所有・管理。鉄筋コンクリート造開腹式単アーチ橋。アーチリブ等に鉄平石を貼り、鉛直材端部のハンチを曲面状に仕上げるなど丁寧なつくり。久米路峡（長野市指定名勝）の良好な景観形成に寄与している。



所在地：長野市戸隠栃原字川浦～戸隠祖山字下林

建築年代：昭和 2 7 年（1 9 5 2）

構造等：裾花川中流の砂防堰堤。建設時の事業主体は長野県、設計は県の砂防の専門技術者である松林正義、現在も長野県が所有・管理している。アーチ式コンクリート造堰堤で、表面に切石で精緻な谷積を施している。昭和 2 4 年キティ台風による水害後に築かれた貯砂及び洪水調節を目的とするアーチ堰堤で、今も長野市街地と周辺集落を災害から守る。

2 長野市内の国登録有形文化財件数

種 別	今回答申件数		合 計 (現在登録件数+答申件数)
	新登録	抹消	
登録有形文化財（建造物）	2 件	0 件	1 3 7 件 （5 9 箇所）